

賛成 公明党

歳入では、人口増加などに伴い市税収入が前年度に比べ5・3%増加しました。市税収納率も、徴収業務の創意工夫により市民の利便性向上を図り、県内1位となりました。歳出では、公共施設のエレベーター設置やトイレの洋式化、各種子育て環境の整備、高規格救急車の1台増車など、市民の安心安全に取り組んだことを評価します。

賛成に当たり、3点要望します。①令和元年度中は市内での火災発生件数および死者数が増加したことから、特に発災

賛成 市民クラブ

以下を要望し、賛成します。

リサイクルの集団回収を行っている協力業者にとつて、現在は大変厳しい状況です。市民も協力団体も混乱なく事業を続けられることが重要であることをから、制度の見直しを求めます。報奨金アップと現在の集団回収から委託への変更も含め検討することを要望します。

高齢者の公共交通網は、国の見解に合わせて福祉部局と交通部局で連携すべきです。各部局で連携しての推進を要望します。地域支え合い活動や高

賛成 新生令和

令和元年度は、計画期間20年の基本構想最終年度であると同時に、10カ年計画である後期基本計画の最終年度でもありました。地方交付税や基金からの繰入金が増、納税者が増え市民税は増、区画整理に伴う土地使用収益の開始、新築住宅の増加で固定資産税増、その他市税収入も増。歳入総額は前年度比7・4%の約43億2800万円増。TX沿線整備で新市街地地区区画整理事業が終了、児童生徒の増加に対応し、通学路拡幅整備、校舎増築・改修および新設小工

賛成 会派に所属しない議員 大野 富生

賛成しますが、長期間不自然な形で手付かずとなっている項目を指摘します。

広報ながれやまは、広告代理店を通じて新聞販売店に持ち込まれ、朝刊折り込みとして各世帯に配布されます。その委託部数は、少なくとも5年以上同じ部数です。

全く変動しない委託部数は、5万5238部。その数字は市ホームページ(入札・契約)随意契約状況)の中では非公開。契約金額(1部当たりの単価)のみの公開となっています。

市政に関する一般質問

令和2年第3回定例会の一般質問には、22人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。

各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。

なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。



インフルエンザ予防接種対策について

公明党 野村 誠

問 新型コロナウイルス感染症の流行が続き、感染症への関心が高まり、インフルエンザ予防接種の増加が見込まれる中、本市として多子世帯やひとり親家庭に対して予防接種費用の助成の拡充を図るべきと考えるがどうか。

答 健康福祉部長 季節性インフルエンザ流行期に発熱患者が発生した場合、インフルエンザ予防接種を希望するこの冬のインフルエンザワクチン接種を希望する場合には、ひとり親家庭のみならず、多子世帯においては特に経済的負担が大きいと考えます。市としてはこれら対象小児のインフルエンザ予防接種の任意接種の助成について、今冬に向け検討していきます。



市政に関する一般質問
通告一覧は市議会ホームページへ

令和2年第3回定例会「市政に関する一般質問」の通告一覧は、市議会ホームページからご覧いただけます。

流山市議会 令和2年第3回定例会 日程・通告 検索
<https://www.nagareyamagikai.jp/doc/2020090100013/>



こちらのQRコードからもご覧いただけます。



流山市の新型コロナウイルス感染症に対する情報発信について

流政会 笠原 久恵

問 令和2年第2回定例会で制定した流山市新型コロナウイルス感染症対策条例では、第5条第3項で「不当な差別的扱いや誹謗中傷を行ってはならない」としており、感染者への対応が喫緊の課題である。市としてはどのように認識しているか。

答 総合政策部長 「広報ながれやま」8月21日号において「STOP!!」のことが懸念されます。現在のところ、市の相談窓口にはこうしたご相談は寄せられていませんが、同感染症に関しては、今後も継続的な人権啓発が必要であると認識しており、市民の皆さまに対する情報発信に力を入れていきます。

